

●前計画(第3次 大田区文化振興プラン)の評価

第3次計画では『文化を愛し育み創造する、にぎわいのあるまち大田区 ～地域力を活かした多様な文化とのふれあい～』をまちの将来像としました。この実現のために掲げた基本目標3つに基づく具体的なまちの姿である、

「誰もが文化に触れ、豊かな暮らしを送る」

「誰もが地域に魅力を感じ、楽しむ」

「誰もが地域で自分らしく生きがいをもって暮らす」

がどの程度実現できているかを評価します。

○現行プランの評価

まちの将来像(基本目標1)	誰もが文化に触れ、豊かな暮らしを送る ・区内のサークルによる講座を支援することで、学びたい区民のニーズに応え、学びの機会を創出した。 ・こどもが博物館/記念館以外の場所で郷土資料や絵画等に触れる機会を提供するとともに、博物館/記念館の認知度向上につなげた。 ・文化芸術活動団体同士がつながるための機会 ・こどもが鑑賞・体験できる機会 ・練習や発表の場所/機会の充実度 ・文化芸術活動をしている区民の人数
まちの将来像(基本目標2)	誰もが地域に魅力を感じ、楽しむ ・複数年にわたって区民が参加するオペラのワークショップを通じて、創造力、表現力、協調性を育むことができた。 ・国籍、年齢、障がいの有無にかかわらず、誰もが和楽器の演奏に親しめる環境を整備した。 ・地域の文化を区の魅力として発信する取組 ・区の文化や歴史に触れる機会 ・区民がプロジェクトの中心となって運営する文化芸術事業
まちの将来像(基本目標3)	誰もが地域で自分らしく生きがいをもって暮らす ・博物館を拠点に活動する団体協力のもと、郷土の歴史や昔の暮らしぶりを学ぶ機会を提供し、地域コミュニティを活性化できた。 ・地域に眠っている文化資源を掘り起こしたことで、民間の文化施設等で文化芸術を鑑賞した区民が増えた。 ・区の文化芸術環境に対する満足度 ・文化芸術を他分野と連携させた取組み